



ゆっくりに ゆっくりに

先日、園庭で泣いている1歳児に3歳の女の子が話をしている姿を0歳のテラスから見かけました。その姿に「どうしたの?」と友だちが集まってきました。すると泣いている子の頭を撫でながら「転んじゃったんだって」と話します。近くの保育者も転んだことには気づいていますが、大怪我に繋がることではなかったので、そっと子どもたちのやり取りを見守っていました。女の子たちはすかさず「痛い痛い飛んでいけ〜!」と言葉をかけます。「痛かったよね。どこが痛いの?」と保育士のように寄り添う女の子。そして周りの子も「大丈夫?〇〇ちゃんの痛い痛いのお空に飛んでいけ〜」と一生懸命痛みを逃そうと頑張っていました。転んでしまった子はいつの間にか笑顔に戻り、近くで見守ってくれていた保育士の元へ走って戻って行きました。自分も同じように転んで痛さを経験し、その時に寄り添ってくれた大人や友だちとのやり取りがあったからこそその声かけ…なんだかほっこりさせてもらいました。

私もよく「痛い痛い飛んでいけ〜」と声をかけ、さすってあげた後、「〇〇ちゃんの痛い丸めてお砂糖かけて食べちゃお〜!パクッ」と口に入れる振りをしたり、「痛い痛い〇〇ちゃんのお口に飛んでけ〜」と言うと友だちが口を開けて「もぐもぐ」と食べる真似をしてくれたり、「〇〇先生に飛んでけ〜」と言うとくっつけられた先生が「痛い痛い!!」と肩代わりしてくれたりなんてことをやったりしているといつの間にかそこから追いかけてごっこやお医者さんごっこがスタートしたりして本当に涙も痛みも飛んで行ってしまふなんてこともあります。

大きな怪我は、おまじないでは治りませんが、言葉とアタッチメントにより脳に指令が行き痛みが和らぐという検証もされているようです。また、怪我をした子の周りにはいる人が動転してしまうと子どもも不安になってしまいますよね。自分を落ち着かせる為、そして傷口をしっかりと見て対応したり、子どもの様子を感じる為にも「おまじない」は良いかもしれません。怪我だけじゃなく、ぐずったりした時にもわらべ歌やママオリジナルの即興ソングは「おまじない」となり、子どもたちの身体と気持ちを和らげてくれると思います。



バスタオルを使って遊ぼう!!

おうちにあるバスタオルは、肌さわりも良く洗濯も直ぐできるし大きくダイナミックに遊ぶことができます。

お座りがしっかりできるようになったら…そり遊びやハンモックなども楽しいですよ。



地域子育て支援【ひろば】気軽にお問い合わせください!

* 6月17日(離乳食相談) 7月17日 空きがあります。

* 申し込み制、先着8名です。→TEL: 04-2946-3310

月~金: 9時~17時

* 第1子限定 R2年7月生まれ~R2年12月生まれ対象。

* 9時半~10時半。東所沢保育園にて。

子育ての悩み・子どもの発達…ちょっとしたことでもお電話下さい!!

04-2946-3310 (月~金: 9時~17時)

園庭開放もやっています。着替え・水分補給を持って来てね!